

はまだより

パナソニック松愛会
横浜東支部／横浜西支部

2019年2・3月号 No.123
ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/yokohama/>

発行人 野口 彰
編集人 小野喜一

新春懇親会へのご参加ありがとうございました

年頭を飾る恒例の横浜東・西支部合同・新春懇親会が、1月19日(土)に、パナソニック(株)佐江戸事業所南厚生棟で開催され、約300名の会員が参加され、談笑し、旧交を温めました。今回は「ご同伴者も歓迎」としたため、ご夫婦で参加の会員もおられました。ステージから響くカウントセイノウオーケストラの迫力あるサウンドが参加者を魅了し、また恒例の大抽選会もおおいに盛り上がり、大変和やかな催しとなりました。当日の写真等は『はまだより』4・5月号(4/1発行予定)でお知らせします。またホームページでも紹介していますのでご覧ください。

今回も大盛況の70歳・65歳 地域別節目懇談会



退職後の人生における節目の年を迎えた会員を対象に実施している「地域別節目懇談会」も、2018年度で5年目となり、今回は2018年4月2日から2019年4月1日までに満70歳・65歳を迎える会員が対象になりました。70歳は12月2日(日)に支部単位で実施しましたが、65歳は11月25日(日)に東・西支部合同で開催しました。総参加人数は90名となりました。同世代・同地域の会員同士ですから、いずれの会場も終始和やかな雰囲気の中、近況や趣味、今後の人生などについて語り合い、大変盛り上がりました。地域に密着した支部活動の柱として、今後も重点的に取り組んでいきます。

(間島 輝利記)



同期の仲間との交流はやはり嬉しいものです。全員笑顔で記念撮影した(上段左)70歳東支部、(同右)70歳西支部、(下段)65歳東・西合同の節目会員の皆さんと支部役員の方々

2019年度 年次支部総会は5月25日(土)開催

2019年度年次支部総会は下記のとおり開催します。多数のご参加をお待ちしています。

※詳細は『はまだより』4・5月号でご案内します。

- 日 時：5月25日(土) 午前10時30分～午後1時30分
- 会 場：パナソニック(株)佐江戸事業所南厚生棟(S1棟)(旧松下通信工業)
- 内 容：2018年度支部活動報告及び2019年度活動計画の審議 その他

「創業100周年を祝う会」に支部から623名が参加

松下幸之助創業者が大正7年(1918年)3月7日に松下電気器具製作所を創立して100年を迎えた2018年に、パナソニック株式会社は、100周年を記念して10月30日(火)から「クロスバリューイノベーションフォーラム2018」というシンポジウム及び展示会を東京国際フォーラムにおいて開催しました。その最終日の11月3日(土)はOBを招待して「創業100周年を祝う会」が行われました。会では津賀一宏社長が今後の100年に向けた事業ビジョンを説明され、佐野尚見・松下政経塾理事長がOBを代表して挨拶を行いました。続くアトラクションでは、人気番組『ナショナル劇場 水戸黄門』で、2代目助さんや5代目黄門様を熱演した名優・里見浩太朗さんと、魅力ある名演技で人気を博した由美かおるさんが登場し、パナソニック合唱団のコーラスをバックに懐かしい歌の数々を披露しました。里見さんは82歳という年齢を全く感じさせない張りのある歌声で、由美さんは変わらぬ艶のある美声で会場を沸かせ、最後は水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」を会場全員で大合唱。式典は感動深く幕を下ろしました。なお東京会場の参加者は1801名(大阪11/8に6465名)で、横浜東支部からは357名、西支部は266名の計623名が参加しました。

「パナソニックエンジェルス クイーンズ 駅伝V2」に感涙 前身の女子陸上競技部創立の功労者は横田洋二会員

昨年11月25日(日)、杜の都の仙台市で開催された第38回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)ゴールの仙台市陸上競技場。パナソニックの大応援団の歓呼の声に迎えられた最終ランナーの森 磨皓(ましろ)選手がVサインを掲げてトップでテープを切ると、パナソニックエンジェルの全員が駆け集まり、抱きついて喜び合いました。監督の安養寺(あんようじ)俊隆氏も胴上げされ、笑顔で宙を舞います。昨年に続く2連覇。しかも第1区から第6区まで一度もトップを譲らぬ完全優勝でした(タイムは2時間15分22秒)。さらに区間賞は第1区の森田香織、第3区の渡邊菜々美、第5区の堀 優花(なんと)区間新記録)の各選手が獲得しました。

安養寺監督は「記念すべき創業100周年に記念すべき優勝を実現したすごい選手たち」と、特別の想いを語っていました。チームの合言葉は「ボンバイエ!」(やったるでえ)。食事はしっかり摂り、その分動く「食べて勝つ」がモットーのチームの特徴は、明るく自由で強いチームワーク。平均年齢20.7歳は出場チームNo.1の若さで、森選手と第4区金丸清香選手の新人が活躍しました。第2区出場のキャプテン内藤早紀子選手は若手を温かく見守ります。パナソニックエンジェルスはAIS社とCNS社の2社が共管する女子陸上競技チーム。2017年に創部30周年を迎えています。その前身は1987年創部の「松下通信」チームで、その創部の功労者は当時、松下通信工業(通工)人事部長だった横田洋二さん(川崎市多摩区)です。

横田さんは「1958年創立の通工30周年を迎える記念事業の一つとして企画しました。みんなが応援できる新しいスポーツチームの設立です。当時は松下全体でも男性中心の競技が多く、通工はぜひ女性が活躍するものにしようという意気込みでした」、「陸上競技なら専用の施設もなく、多大な費用を必要としないので長続きしそうですし、また試合に出られたらテレビ放映のチャンスもあります。当時、通工は独自の大卒採用を行っていたので、通工の知名度向上にも役立つと考えました」と回想します。「当時の社長・石澤命孝さん(横浜市港北区)や、部長を引き受けてくれた専務の大杉欣一郎さん(横浜市緑区)の理解など多くの方々のおかげです。特に選手の確保で監督の横溝三郎さんには頑張ってもらいました」。横田さんは2連覇達成のテレビ中継を観ながら、目頭が熱くなりました。「嬉しいです。チームからは2012年ロンドン五輪代表になったコーチの吉川美香選手や2015年ロンドンマラソン優勝の加藤麻美選手がいますが、それに続く若手の活躍を期待しています」と笑顔で語っていました。(取材協力・写真提供:同チーム競技部長 佐藤賢一氏)

パナソニックエンジェルのホームページ: <https://panasonic.co.jp/angels/index.html>



2連覇達成のパナソニックエンジェルの皆さん。後列左端が安養寺監督、同右端が佐藤競技部長、選手名は最下行のHPを参照してください



横田さんは創部の功労者

「真向法」で健康づくり

「手軽にできる健康体操」のご案内

健康の基本である、しなやかな身体づくりをめざし、毎回好評を博している「真向法」(まっこうほう)を中心に、全身のストレッチ、筋肉のほぐし方などについて学びましょう。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■ 日 時：3月16日(土) 午前10時～11時30分(受付開始：午前9時45分)

■ 場 所：菊名地区センター(※同センターとのタイアップ行事です) 下記地図参照

横浜市港北区菊名6-18-10 TEL 045-421-1214 (JR横浜線・東急東横線 菊名駅下車徒歩約6分)

■ 参加費：無料

■ 募集人数：先着40名(会員とその家族 小学生以上のお孫さんどうぞ!)

■ 内 容：全身のストレッチ、筋肉のほぐし方など「真向法」を中心に、実技を通して学びます。

■ 講 師：北村民雄先生(真向法協会会員) ※松愛会会員です。

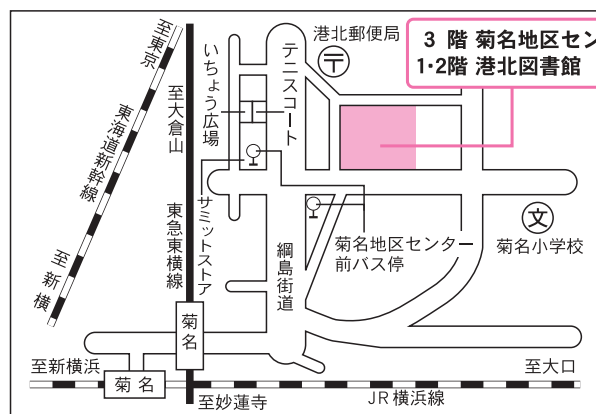
(各地で体操教室など主催され、活躍されています)

■ 申込方法：TEL 090-8859-0409 担当窓口 針谷俊隆

又は 横浜東・西支部HP shoaiyokohama@yahoo.co.jp から(会員名・同伴者名・TEL番号のご記入を)

■ 申込締切：2月28日(木)

■ 持ち物他：汗ふき用タオルなど。動きやすい服装でご参加ください。(※飲物は準備します)



下は前回の健康体操教室で「真向法」を指導する北村先生(手前)



2018年度「友愛活動」についての報告

「友愛活動」は75歳以上の会員(グランドシニア会員)の方々を対象に「コミュニケーションを深め、会員同士の絆をより強くしよう!」という取り組みです。昨年8月、横浜東・西支部では、75歳以上の会員721名に対して、「グランドシニア懇談会」の案内と一緒に、近況についてのアンケート調査を行いました。(集計結果は図表参照)

「グランドシニア懇談会」は9月22日(土)、佐江戸のAIS社にて開催し、139名の方々にご参加いただきました。新75歳の会員には久しぶりの同期会となったので、皆さん大変楽しそうな様子でした。また、アンケート調査で「自宅への訪問可」と回答された会員及び一人住まいの会員に対して、地区を担当する支部役員が自宅を「友愛訪問」しました。一人住まいの方への訪問では、特に健康や生活状態などを確認しました。また訪問時には、ご要望やご不満な点などについても伺いました。「友愛活動」を通じて皆様から様々なご意見をいただくとともに、多くの喜びの声に接することもできました。さらに会員と支部役員との相互のコミュニケーションが深まるなど有意義な活動となっています。

(小松澤 弘安記)



友愛活動アンケート結果集計表

総会員：2,205名／対象者：721名／構成比：32.7% (2018.8.31名簿より)

家族構成	配偶者あり	同居者あり	独居者	()は2017年度
	73% (80%)	17% (11%)	10% (9%)	
健康状態	良 好	通院加療中	入院加療中	長期療養
	56% (56%)	39% (40%)	3% (2%)	3% (2%)
日常生活	定期・不定期に仕事	趣味・スポーツ	地域・ボランティア活動	その他
	9% (10%)	53% (50%)	20% (20%)	18% (20%)
HP Eメール	ホームページ見ている	Eメール活用している		
	33% (33%)	41% (39%)		

(上段写真) グランドシニア懇談会での歓談

(右写真) 支部役員が担当地区のグランドシニア会員(左側)を訪問



「赤城鉄道」では今でもSLが活躍 300両を超す模型車両に遙かなる旅路の夢

赤城 伸一さん 70歳
(横浜市泉区)

晴れた空から、綿毛のような小さな雪がふわふわと舞っている。磐越西線中山宿のスイッチバックのホーム越しに蒸気機関車が停まっている。やがて、汽笛一声。シリンダーから白い蒸気を一気に吐いて、ドラフト音を響かせ、動輪がゆっくり回転し列車は動き出した…。初夏の山並みの緑が目まぶしい。高山の稜線にはまだ雪が残り、白く輝いている。川沿いの狭い谷間を蒸気機関車は喘ぎながら、峠へと向かって行く…。

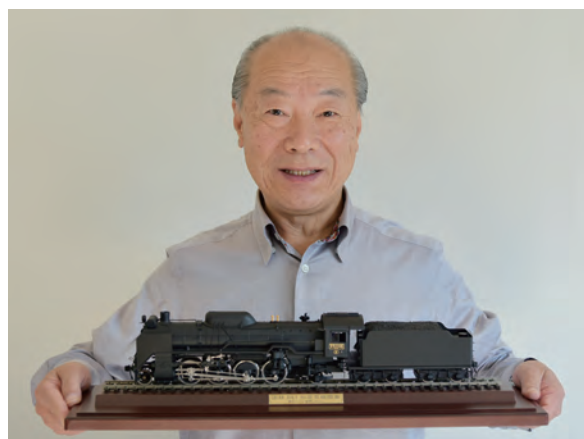
「そんな風景をジオラマで再現したい。鉄道模型の醍醐味は景色の中に躍動する車両」と語る赤城さん。幼少の頃より人一倍鉄道が好きだったそうです。かつて赤城さんは「無人島に行くとしたら何を持っていくか」という質問に、「時刻表!」と答えていました。中学生時代にはそんな時刻表マニアとなり、時刻表の中で日本全国を旅していたと言います。高校に入ると「鉄道研究会」に所属し、当時完成したばかりの東海道新幹線(昭和39年開業)品川電車区を見学。0系新幹線の運転台に座り、スロットルを握ったそうです。のどかな時代でした。

しかしその後は、あえて趣味の鉄道を断ち切り、持っていた鉄道模型の車輛、線路をすべて親類にあげてしまいました。それでも鉄道への情熱は冷めることなく、やがて結婚して、子どもが大きくなるにつれて再燃していったのです。

鉄道ファンは、乗って楽しむ「乗り鉄」や写真撮影の「撮り鉄」の他、「車両研究」、「模型作り」、「グッズコレクション」など趣味の領域が分かれているそうです。赤城さんは、もっぱら「模型作り」と「撮り鉄」。海外へも足を延ばして、永年勤続30年の記念旅行で、奥さんと2人で行ったイギリスでは、単独でロンドンから急行に乗ってヨーク市まで行き、国立鉄道博物館に展示された、黎明期の蒸気機関車に会って来ました。日本の新幹線も展示されているのを見て感激したそうです。

数年前、東京ビッグサイトで開催された「国際鉄道模型コンベンション」に、江ノ電・極楽寺駅周辺のジオラマを出展したことを機に、模型作りが復活。現在では300両を超す車両をお持ちですが、主力はH0(実物の80分の1/レール幅16.5mm)規格の国鉄蒸気機関車。昭和30年代の国鉄ローカル線をジオラマで再現することを目指して、半田付けに苦勞しつつも、真鍮製のSL模型作りに取り組んで多忙な毎日を送っています。

(レポーター・広報委員 小松澤 弘安)



D51は赤城さんのご自慢の一つ。大きさが分かります



国際鉄道模型コンベンション作品「江ノ電の情景」



(上) イギリス・ヨーク市の英国国立鉄道博物館で
(右) たくさんの模型は2つの飾り棚に収納。これはそのほんの一部



ぶらり会

～今後の予定の詳細については「ぶらり会」で検索してください～

- 第425回 「田浦の梅林から横須賀東京湾の眺望を楽しむ」
2月28日(木) 京浜急行線 京急田浦駅 改札前 午前10時集合
- 第426回 「箱根駅伝第4区間の半分を歩く」
3月9日(土) JR東海道本線 平塚駅南口 改札前 午前10時集合
- 第427回 「景勝神武寺と鷹取山ハイク」
3月28日(木) 京急逗子線 神武寺駅 改札前 午前10時集合

* いずれも雨天の場合は中止です。

* 参加希望の方

当日、指定場所・時間までに集合。

* 参加費200円。昼食、飲物、雨具等は各自で用意ください。

(世話役) 村田秀夫さん 045-821-0465

高木達雄さん 045-933-0495